



杵岐高便り 第136号

発行責任者
山口 千樹



携帯
サイトへ

長崎県立杵岐高等学校 長崎県杵岐市郷ノ浦町片原触88

[TEL]0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki>

巻頭言

変わるけれども、変わらないもの

校長 山口 千樹



江戸時代の俳人である松尾芭蕉を知らない人はいないでしょう。「奥の細道」で、芭蕉といっしょに旅をした河合曾良の墓は、勝本町にありますね。

この松尾芭蕉は、晩年「不易流行」という考えを示すようになります。日本大百科事典によると、「不易」とは時代の新古を超越して変わらないもの、「流行」とは時代にに応じて変化していくものを指すそうです。芭蕉は、「不易と流行は、対立するものではなく、本質的に同じものにたどりつく。」と考えていたとされます。

芭蕉は「俳句は、時代の流れを受けて少しずつ変化するべきであり、美という本質を見失わなければ、変化した俳句にも、それまでの俳句と同じかそれ以上の美しさがあるはずだ。」と考えていたように思われます。「不易流行」という言葉の中には、本質を見失ってはいけないという、芭蕉からのアドバイスが隠されているような気がします。

このことを杵岐高校に当てはめると、喜応寺が丘に建つ「杵岐高校」という学び舎が、百年以上変わらず教育・学習の場であるということは「不易」であり、そこで学ぶ生徒が毎年入学・卒業したり、教育・学習の内容が変化したりすることは「流行」であるといえるでしょう。そして、本校の「不易と流行」が人格の完成・進路実現を目指すという本質は、創立以来ずっと変わっていません。

さて、そのような本校の第69回卒業式が行われます。今回から、式歌を「旅立ちの日に」にしました。それは、生徒のみなさんが小中学校を通じて親しんだ曲で、心をこめて歌ってほしいからです。何を歌うかよりも、心がこもることが大切だと考えたのです。

現在の体育館で行われた最初の卒業式は、私たち33期生で、式歌は「蛍の光」でした。歌う歌は変わりますが、卒業式の本質は変わりません。卒業生を送る気持ち、保護者や先生方への感謝の気持ちを込めて歌って、よい卒業式にしてください。

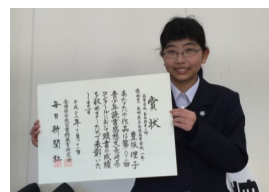


芭蕉と曾良

豊坂理子さん 青少年読書感想文コンクール長崎県大会 優秀賞

1、2年生が夏季休業中の課題として作成した読書感想文の中から選抜された、1年2組 豊坂理子さんの感想文が、青少年読書感想文コンクール長崎県大会で優秀賞を受賞しました。

この感想文は夏川草介著「神様のカルテ」を読んで「人生の中で立ち止まって周囲を見渡し、考えること」の大切さを、自分の進路選択に重ね合わせて考えたものです。豊坂さんは「受賞を聞いてびっくりしました。この感想文は書き出しがスムーズに出てきてうまく書けました。もっといろいろな本を読みたいです。」と語っていました。



宍高Topics!

「バンド・デシネ体験」

2月16日(木)、本校美術室にて「バンド・デシネ体験」が行われ、美術部員12名がワークショップに参加しました。

「バンド・デシネ」とはフランスの漫画のことであり、今回、県の海外アーティスト離島活性化招聘事業の一環として、フランス人アーティストのトニー・マナン氏、ヴァンサン・ルフランソワ氏の2名が来校し、バンド・デシネの説明と創作指導を行いました。

生徒たちは、バンド・デシネはフランスでアートとして確立されており、日本のマンガとは少し異なること、作家それぞれの発想法で独自の画風が生み出されることなどの話を聞いた後実際に作画に取り組み、お二人からアドバイスを受けていました。

体験した生徒たちは、「外国にもいろいろな芸術があるということを感じることができました。発想が斬新でおもしろかった。」「バンド・デシネは絵の完成度が高く、それだけで独立した作品という感じがしました。日本のマンガは読者が読みたいものを描くけれど、バンド・デシネは作者が描きたいものを描くという感じがしました。」と語っていました。



トニー氏・ヴァンサン氏のバンド・デシネ



3月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

1	水	卒業証書授与式 夏時間開始
2	木	特編Ⅲ期開始
3	金	体力テスト・身体測定①②
4	土	★①②
5	日	
6	月	学校評議員会
7	火	高校入試準備作業 特編Ⅲ期終了
8	水	生徒自宅学習 国公立大中期試験
9	木	生徒自宅学習
10	金	生徒自宅学習
11	土	スタディサポート①②
12	日	国公立大後期試験
13	月	個人写真撮影
14	火	
15	水	
16	木	高校入試合格発表 LHR(卒業生体験発表)
17	金	合格者説明会 O里親顔合せ会
18	土	
19	日	
20	月	【春分の日】
21	火	
22	水	
23	木	校内球技大会
24	金	終業式 大掃除 離任式
25	土	
26	日	HSK② 中国語検定①②
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

進路指導部より

2月25日に行われた国公立大学前期試験の合格発表が3月3日から始まり、続いて中期試験が8日、後期試験が12日から実施されます。私立大学の入試もほぼ終了し、いよいよ受験も終盤戦となりました。3月1日には卒業式を迎えますが、中・後期試験を受験する生徒のために、引き続き「特編Ⅲ」講座を組んでサポートしてまいります。まだ思うように結果が出ていなくても、合格を勝ち取るまで粘り強くチャレンジを続けてください。

1・2年生は学年末考査も終わり、対外試験は3月11日の「スタディーサポート」を残すのみとなりました。これは通常の模試とは異なり、国・英・数の基礎学力の到達度を測ると同時に、学校や家庭における自身の学習状況を見つめ直すよい機会となります。次年度の成功は4月からの頑張り方ではなく、3月の締めくくり方が鍵を握っています。これまで積み重ねてきた学習を磐石のものにするための復習が必要です。次のステージに上がる前に、しっかり「助走」をつけましょう。

生徒指導部より

第69回生の皆さん、いよいよ卒業式ですね。おめでとう。あなたたちは、特に「挨拶」が素晴らしい学年でした。校門を通過する時、廊下ですれ違う時、必ず立ち止まり挨拶をしてくれました。急いでいる時にも、笑顔で挨拶してくれました。きっと、意識して取り組んだことで、身に付いたのだと思いますが、人と人との出会いは挨拶から始まり、その第一印象でその後の付き合いまで変わっ

てしまう重要なコミュニケーションツールです。挨拶をして損することはありません。これからも新しい出会いで自ら進んで挨拶をし、輝く未来を明るくものにしてください。出来ていないと思う人は、すぐに行動に移しましょう。

「心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる 習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる」

生徒会・美化部より

平成29年2月25日～3月25日に、吉崎在住の高校生が文化活動を発表する場である「吉州祭」が一支国博物館にて開催されます。

本校の書道部・写真部・美術部・郷土研究は作品を1階テーマ展示室にて展示し、吹奏楽部・放送部は3月5日に3階多目的ホールにて開催されるイベントに参加します。吹奏楽部は吉崎高・吉崎商の合同演奏会、放送部は朗読劇を行います。

吉崎高・吉崎商合同
高校生による文化芸術祭
吉州祭

展示
1階テーマ展示室
吹奏楽部 美術部 書道部 郷土研究部
写真部 放送部 合唱部 朗読部
平成29年2月25日(土)～3月20日(日)
14時開演(13時30分開場)

イベント
3階多目的ホール
吹奏楽部・吉崎高・吉崎商合同演奏会
放送部・吉崎高・吉崎商合同朗読劇
3月5日(日)
14時開演(13時30分開場)

支国博物館

本校の文化部は、体育部と同様に、熱心に活動に取り組み、各種大会で優秀な成績を収めています。入場は無料です。生徒の皆さんはもちろん、保護者の方々にも、文化部の生徒たちの日頃の活動の成果をご覧いただきたいと思えます。

東アジア歴史・中国語 コース

2月3日(金)、本校の2年生の日本史選択者及び歴史学専攻5名を対象に、日本史特別講義が行われました。講師には、石造物研究の専門家である大石一久先生をお招きしました。歴史学専攻の生徒は、専門性の高い授業に耳を傾け、歴史学研究への思いを強くしました。

2月18日(土)に、長崎歴史文化博物館にて、第37回長崎県中国語コンクールが行われました。大学生や一般の方が出場されるレベルの高い大会でしたが、上級部門で3年生の鈴木岳斗君が第2位、初級部門で2年生の城あみさんが第2位を受賞しました。これで、今年度予定していたコンテスト全てで入賞を果たすことができました。



第 3 学 年 よ り

2月25日、26日に国公立大学の前期試験が行われました。センター試験後、それぞれの志望大学の個別試験に向けて努力を重ねてきました。中・後期試験に向けて、卒業式後もまだ講座があるので、最後まで諦めず粘り強く合格を勝ち取って欲しいと思います。

さて、いよいよ3月1日に卒業式が行われます。69回生の晴れ姿を保護者の皆様に見守って頂きながら、学舎を巣立って行って欲しいと思います。保護者の皆様には、3年間様々な面でご支援ご協力頂き誠にありがとうございました。

69回生のみんなへ 最後に人生で大切な4つのLを贈ります。

Live,自分の人生を生き、**Love**,誰かを愛し誰かに愛され、**Learn**,一生学び続けて下さい。そして**Laugh!**笑って辛いことも吹き飛ばす明るさを持ち続けて下さい。自分の人生は自分で切り開くたくましい人になって下さい！

第 2 学 年 よ り

2月は修学旅行より引き続きインフルエンザに苦しめられました。学年からこんなに多く、そして長期に渡り生徒が感染したのは記憶にありません。これが受験生の年でなくて良かったなと心から思います。受験に対して万全の体調で臨めるよう、今年の教訓を来年に生かしていきます。

いよいよ69回生の卒業です。お世話になった卒業生を最高の形で送り出したいと思います。そして70回生は最高学年となりま

す。先輩方が築いた伝統を受け継ぎ、吉岐高校の中だけではなく、吉岐島全体の模範となるべく育てていきます。生徒諸君は当然ですが、保護者の皆様もよろしくご指導・ご協力をお願いいたします。

第 1 学 年 よ り

先日、普通コースの「総合的な学習の時間」の発表会を行いました。今年度はこれまで、進路研究と合わせて、島内の各事業所から講師を招聘し、職業にまつわることや各業種の視点から吉岐の現状や今後の見通しなどをお話いただきました。その後、クラスで業種ごとに班分けをし、「吉岐をいっそう活性化させるために」をテーマにプランを考えてまとめ、発表しました。

本選では各クラスからの代表5班がプレゼンを行いました。若者らしく大胆、奇抜、しかし実体験に基づいた高校生目線の提案はどれも興味あるものでした。それまでの指導が奏功したと思えますが、何より生徒たちが故郷に関心を持ち、より良くなればとの思いをこめた想像以上の内容でした。

来年度もさらに進路探求に寄与する内容で総合的な学習を行っていきます。



Kayla's double double time (ALT ケイラ先生のコラムです)

Graduation is coming soon! This is both an exciting time and a time filled with nervous feelings and anxiety. Your life is changing very quickly from what you have known for the past 18 years. Soon you will be studying for your own future jobs and making new friends. You will also learn more about who you are and what you are capable of. But it is important to not forget your years here on Iki, your family and teachers, and most of all your friends. After my own graduation from high school, My closest friends and I went on a trip to the local shopping area in Toronto. We just walked around and took pictures together and ate new food. We chatted and window shopped all day. Even though I don't see most of them anymore, I remember the time fondly and I won't soon forget it. So I recommend getting together with your friends before you depart for university and work! Hang out! Take pictures! Eat awesome Iki food and make sure to exchange contact information so you can talk to them even while you're far far away!



